

「行ってよかった」と思える研修が自治大にあります

総務省自治大学校 入校前の不安と卒業後のリアルな声

自治大に行くべきか… 最後までなかなか踏み切れなかった



振り返れば、あの日の決断が自分のキャリアの分岐点でした。
今では、背中を押してくれた職場と家族に心からありがとうと言える自分がいます。

長く職場を離れるのは正直気が引ける… そこまでして行く必要があるのだろうか？

公務員人生の折り返し地点で、自分の役割や働き方を含め、自己を見つめ直す貴重な機会となりました。「職場に必ず恩返しする！」という新たな決意で業務に取り組みます。

家族と離れるのはやっぱり寂しい…

帰省のたびに笑顔が溢れました。
離れたからこそ、改めて家族の温かさを深く実感できました。

研修ってこんなに長いのか…？

終わってみれば、全力で走り抜けたジェットコースターのような日々でした。
むしろ今では“まだまだ足りない、もっとたくさんのお話を学びたい”とすら思っています。

管理職なんて自分にはまだまだずっと 先の話だと思っていた…

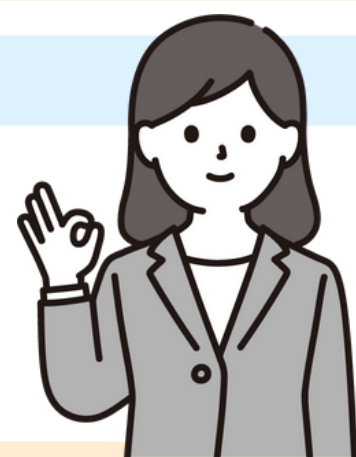
全国の仲間と語り合っているうちに、“挑む側の自分”が顔を出しました。
前に踏み出す勇気と確かな自信を手にできました。

オンラインで十分じゃない？ そう思っていた…



講義や演習の熱量に圧倒されました。
政策立案、ファシリテーション、プレゼンなどこれまで眠っていた力が目を覚ます瞬間がそこかしこにありました。

研修期間を無事に終わられば それでいい



終わってみれば、“無事”どころか人生の宝物だらけ。悔しさも喜びもぜんぶ含めて、かけがえのない日々だったと胸を張って言えます。

上司に胸を張って報告できるような 情報が少しでも聞ければ…

少しどころか各分野のトップから「本質を見抜く視点や洞察力」を授けられ、世界の見え方が変わりました。

休日は立川辺りでのんびりできれば 十分かな

実際は、関東一円の文化・芸術・スポーツ・まちづくりを“体で感じる週末”に。
刺激が多すぎて、休む暇がないほどでした。

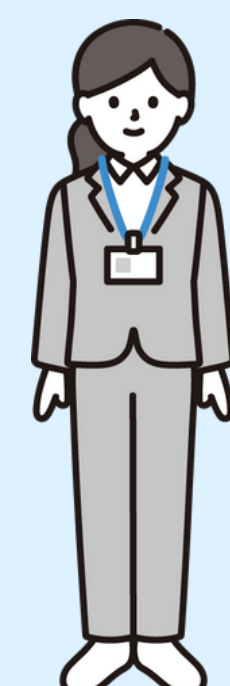
他の自治体の知り合いが 少しでも増えれば嬉しいけれど…



気づけば、深夜まで熱く語り合う仲間ができていました。全国に、生涯つながる“戦友”と呼べる存在が生まれ、ここで育んだ絆は今ではかけがえのない宝です。

地元でちょっとでも役に立つスキルを 得られれば…

スキルだけではなく、考える力や伝える力、導く力、そして公務に向き合う情熱と使命感を得ることができました。



皆様のご入校を
お待ちしております



この資料は、令和7年度第1部課程第144期卒業生（特別研修生）が作成しました。